



「たけまつりだよ！ 全員集合！！」

本格的に準備がすすんでできています

11月に入り、今度は急に「寒さ」を感じています。急速な気候の変化に対して、子どもたちの体調管理に十分な配慮をしていきます。ご家庭においてもよろしくお願いいたします。

「たけまつり」にはたくさんの御参加を

学校では、本校の中心の行事となる「たけまつり」(今年は11月23日[火:祝]・24日[水])に向けて本格的な準備に入りました。プログラム等の案内も配布しますので、是非ご覧ください。

今回は、第1回を記念して、「竹灯籠(とうろう)」のモニュメントを製作しています。製作には、地域で竹工・木工をされているNPO法人「とんかち」さんに御協力をいただきました。当日は、参加している方々と一緒に「竹灯籠」を作る企画もありますので楽しみにしてください。

PTAには、模擬店や合唱・ダンスなども計画されていると聞いています。

展示では、子どもたちの作品と共に、4月以降の「交流・つながり」をテーマにした、写真や報道記事を来校された方々に観ていただく準備を始めています。

2日目には、子どもたちの学習発表も企画していますので、ご覧いただくと共に応援もお願いします。

この「たけまつり」が、これからも、地域の方々とつながり合いの場、和やかな「まつり」になればと願っています。

たくさんのご参加をお待ちしております。



「桃山学園祭」がありました。

子どもたちが大活躍でした。

文化の日の3日、桃山学園祭がありました。毎年11月3日に開催され、今年で51回目を数えます。

オープニングでは、中学部有志の子どもたちが和太鼓を披露しました。とても力強く、チームワークのとれた演奏でした。とてもよかったです。日常の生活の場となる学園での取組であり、学校とはまた違った雰囲気でお私たちを迎えてくれました。

本校からも30人を超える先生方の参加があったり、スクールバスの介助職員の方々の参加もされていました。



「八幡市青少年の主張大会」で 支援学校として初めて参加

学園祭と同じ日の3日の午後から、八幡市市民文化センター：小ホールで、第24回八幡市青少年の主張大会がありました。

本校からは、高等部3年生の貞國健太さんが、「自信が持てたこと」と題して、主張大会に参加してくれました。

彼は、9月当初に開催された、「ふれあい心のステーション」での作業実演で得た達成感を、自らの自信に発展させてきたことを、しっかりと力強く発表をしてくれました。

この主張大会では、支援学校からの参加は初めてで、たくさんの方から「よかった」「よくわかった」と声をかけていただきました。

彼の勇気に改めて拍手を送ります。

そして、ご苦労様でした。

全文を紹介します。ご一読いただければ幸いです。



「自信が持てたこと」

京都府立八幡支援学校
高等部3年 貞國 健太

9月8日・9日、「ふれあい心のステーション」が、大丸京都店で開かれました。「ふれあい心のステーション」とは、京都府立の養護学校・支援学校の高等部の生徒が、作業学習で作った製品を、販売する取組です。僕たちも、八幡支援学校として初めて参加し、自分たちの製品を販売しました。僕たち3年生は、「陶工」の作業学習で作った「コップ」「小鉢」

「小皿」「絵付け皿」を出しました。

そして、もうひとつ、僕には大きな役割がありました。それは、当日大勢の前で、陶工の撥水剤（はすいざい）を塗りの作業実演をすることです。「作業実演をやってもらう」と言われた時、僕には、うれしい気持ちと緊張する気持ちの両方がありました。でも、思いきってやってみることにしました。

本番前、本番のことを考えると、少し焦りました。しかし、本番の実演の最中は、撥水剤を塗ることに集中でき、成功できました。実演の途中で、突然、桃山養護学校の校長先生に撥水剤塗りを教えることになり、焦りました。でも、落ち着いて、ろくろを回しながら撥水剤を塗る方法を、校長先生にアドバイスできました。

本番後、お皿も一枚も割れず、実演時間内にきちんと終わって、うまくできたのでスッキリしました。指導して下さった松山先生が、「最後までよくできました。」と言って下さり、桃山養護学校の校長先生は、「撥水剤の塗り方がよくわかった。」と言って下さり、見ていた方々からは、「かっこよかった。」「落ち着いていた。」「成長した。」等言ってもらえて、うれしかったです。

僕は今まで、人前で何かをやるということはありませんでした。作業実演をやり終えて、「やってよかった」と思いました。作業実演をする前とあとでは、少し気持ちが変わった気がします。

この経験を生かして、これからも、いろいろなことに挑戦し、頑張りたいと思います。

